

令和8年度 事業計画

1. 基本方針

今年に入り新年早々衆議院の解散風が吹き荒れ、ほとんどの政党が食料品の消費税をゼロにするなどの公約が打ち出されてきました。

結果として1月23日解散、2月8日投開票の日程で衆議院議員選挙が行われ、結果は自由民主党の大勝利に終わりました。

消費税については我々シルバー人材センターにとって、インボイス制度に関わり大きな課題ですが、今後食料品の消費税がゼロになったとしても、残念ながらインボイス制度は消滅しないでしょう。

今年度においては、フリーランス新法の遵守とともに次年度に向けて、「請負契約の見直し」を行うための諸準備作業を行っていかねばなりません。

会員皆さまのご理解とともに一層のご支援、ご協力をお願いいたします。

我が国の令和8年度の国家予算が成立されましたが、高年齢者労働行政において今年度も、高年齢者の多様な人材活躍促進事業、シルバー人材センターを活用した高齢者の就労による社会参加の促進事業、高齢者の多様なニーズに応じたマッチングの推進、高齢者が安心して安全に働くための職場環境の整備事業を掲げております。

このことは、今後とも増大する高年齢者の生きがい・働きがいづくりをめざし、一人でも多くの方々の社会参加を通して、今まで培ってきた経験・能力・技能を思う存分発揮していただくことが求められており、特に女性会員の拡大により就労のすそ野を広げ、シルバー人材センターの活性化が求められております。

安全面において昨年度は、例年に比して事故件数が大幅に増加し、大きな危惧を抱いております。

ただその全てが物損事故で留まっております。これが万が一の人身事故につながることも十分に想定され、刑事事件となった場合、シルバー人材センターとしてその会員をどのようなことをしても守ることができない状況になってしまいます。

全国的にも草刈り作業における事故が多発し多くの対策が求められており、喫緊の課題となっております。

また、現在厚生労働省ではシルバー人材センターへの補助金の見直しを行っており、大変厳しい内容が予想されます。

今後ともシルバー人材センター事業にとって、変化の厳しい環境にありますが、この1年間会員の皆さまとともに乗り越えて行こうではありませんか。

2. 実施計画

(1) 事業の普及啓発

- ① 会報「シルバー旭川」を発行し、会員や各関係機関に配布、「高年齢者就業機会確保等事業」の活動について情報提供に努めます。
- ② 「シルバー情報2026」を新聞折込みにより各戸に配布、会員募集と事業PRに繋がります。
- ③ ホームページの内容を見やすく、わかりやすい内容に見直し、情報の発信に努めます。
- ④ 「事務局だより」で会員向けの様々な情報を発信し、技術・知識の向上、仲間づくりに役立ててもらえるよう努めます。
- ⑤ 会員クラウドシステムを利用し、会員やセンターの情報を発信できるように努めます。

(2) 会員組織の確立

- ① 会員拡大に向け、実情に応じた入会説明会(随時)を開催します。
- ② 会員の「知人・友人」の紹介等、口コミによる会員の入会を促進します。
- ③ 地区・班組織の現状を踏まえ、組織のあり方について話し合う機会を設け、今後の方向性を検討します。
- ④ 「かたくりの会(女性の会)」を中心に、女性の入会促進にターゲットを絞った女性向けのイベント等の開催に取り組みます。
- ⑤ 今年度も「高齢者活躍人材確保育成事業」を活用し、就業促進と新会員の拡大に努めます。
- ⑥ 未就業会員へ声掛け、希望職種の聞き取りや希望業種の転換等の相談に心がけ、未就業会員の減少に努めます。

(3) 就業機会の拡充

- ① 自ら開拓自ら就業」を合言葉に、役員・会員・職員による創意工夫を通して就業機会の拡大に努めます。
- ② ホームページを活かし、シルバー事業や派遣事業のPRを行い、適正就業ガイドラインに沿った就業拡大を図ります。
- ③ 賛助会員をはじめ企業の訪問を行い、シルバー事業のPRと就業拡大に努めます。

(4) 安全就業の推進

- ① 「安全は 無理せず 焦らず 油断せず」を合言葉に、安全就業の推進に取り組みます。
- ② 旭川市シルバー人材センターの安全スローガンを「一寸した 気の緩みが 事故のもと」とし安全就業に努めます。
- ③ 事故件数の増大に伴い、事故を起こした場合のペナルティについて見直しを含め検討します。
- ④ 安全講習や安全パトロールを通して、現場での事故防止対策の徹底を図ると共に、会員の安全意識の向上に繋がります。
- ⑤ 事故の軽減に向け、会員の安全対策や作業内容についての「アンケート調査」を実施します。

- ⑥ シルバー人材センター名のマグネットを作成し、啓発と事故の抑制に取り組みます。
- ⑦ 熱中症や転倒事故の抑制を事務局だよりを活用し、全会員に呼びかけます。

(5) 財政の基盤強化

- ① 事務局内の情報共有や職員相互の連携強化に努め、北海道シルバー人材センター連合会が主催する研修等を通じて事務局員の更なる資質の向上を図ります。
- ② シルバー事業を取り巻く環境が厳しさを増すことが予想されることから、なお一層の諸経費の節減を図り、「無駄はないか」効率的な執行に努めます。
- ③ 最近の賃金上昇に対応すべく、運営に必要な事務的経費の検討を進めます。
- ④ 受注の執行管理を徹底するとともに、未収金の防止に努めます。
- ⑤ 行政機関に対し、就業の提供の拡大と財政的支援の要請に努めます。